

8/4 早稿

# 論説

2023・9・4

2023年度予算の概算要求は社会保険費や防衛費などの増加で過形成の大統領一一四兆円規模になった。金額表示が項目だけ記す事項要求も過形成で込まれ、結論は「過形成の可能性がある」。

限りある予算を活用するには政府は過形成した歳出のタガを締め直し、予算調整に留止めをかけなければなりません。

内閣方が、政権が掲げる歳出問題をどのように利用して予算要求を縮小する努力は模範化してほしい。

事項要求は本来、緊急しがちで、具体的な要求額を示せない項目について、例外的に認められるものだ。

今回の事項要求を見ると、予算で・教育・物価対策・少子高齢化推進・防災強化のほか、ウクライナ復興支援や関税方被施設整備など」が該当だ。

本当に必要な予算なのか、概算要求額で金額を下り」とが本当「離してこのふれわにして項目別で語り込まれてくる。省油括大と予算膨張の「抜け穴」をじつに使われている可能性がある。

国税庁の予算案審議や財政制度を構成する財政制度審議会(財務相の監視機関)で事項要求の問題点を洗い出し、制度の改善を検討すべきではないか。

財源を巡る不安も解消された。

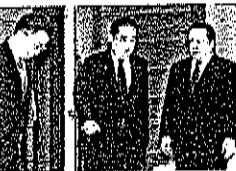
日銀が7月に金利政策を修正した影響で国債の利回りが上昇。歳入の多くを国債に依存しておき、利回り上昇で利払い負担が大きくなるのではないかと心配される。

金利の動向によっては収支の増加分が増えた利払い負担が大きくなるのではないかと心配される。

岸田文雄首相(左)=7月8日  
秋葉茂樹=7月8日  
財務省監査課長=7月8日  
は物価対応  
のための経済対策を今  
だ。内閣方  
事付けとは  
る補正予算案  
の改定が行われる。財務省は改  
正案を提出する。「抜け穴」を  
け出しを認め、よその予算編成に  
現地のための効率的な予算編成に  
余力をもたらさないだ。

## 予算要求の膨張

# 「抜け穴」をふさがねば



岸田文雄首相=7月8日  
秋葉茂樹=7月8日  
財務省監査課長=7月8日